



2008年3月期 中間決算説明会

日本精工株式会社

2007年11月2日

本資料には、業績見通し及び事業計画等を記載しております。
それらにつきましては、各資料の作成時点における経済環境や事業方針などの一定の前提に基づいて作成しております。従って、実際の業績は、様々な要因により、これらの業績見通しとは異なる結果となりうることをご承知おき下さい。

1. 2008年3月期 中間決算
2. 2008年3月期 業績予想
3. 中期経営計画（'06～'08年度）
の進捗状況
(補足資料)

1. 2008年3月期中間決算

《事業環境》

『需要環境は全体的には概ね堅調に推移』

- 産業機械：グローバルに設備投資関連需要が旺盛
- 自動車関連：日本は輸出向け牽引、中国需要が堅調
- 半導体/液晶関連：前期からの調整局面が継続

《中間決算サマリー》

- 中間実績は対前年同期増収増益、**売上・利益ともに
期初上期予想(5月発表)を達成**
- セグメント別業績
 - * 産業機械軸受：旺盛な需要を取込み**利益率13%台維持**
 - * 自動車関連製品：社内努力が奏功し**収益改善が進展**
 - * 精機製品：需要環境影響により**利益減**

2008年3月期 中間業績サマリー

(億円)	07/3上期 ＜実績＞	08/3上期 ＜実績＞	対前年同期 増減額	対前年同期 伸び率	08/3上期 ＜期初予想＞
売上高	3,493	3,693	+200	+5.7%	3,600
営業利益	300	316	+16	+5.2%	310
＜営業利益率＞	<8.6%>	<8.5%>			<8.6%>
経常利益	278	294	+16	+5.8%	280
税引前利益	280	294	+14	+4.9%	280
当期純利益	173	177	+4	+2.4%	175
(換算レート1US\$=)	(¥115.29)	(¥119.42)			(¥115)
(" 1EURO=)	(¥146.16)	(¥162.33)			(¥150)

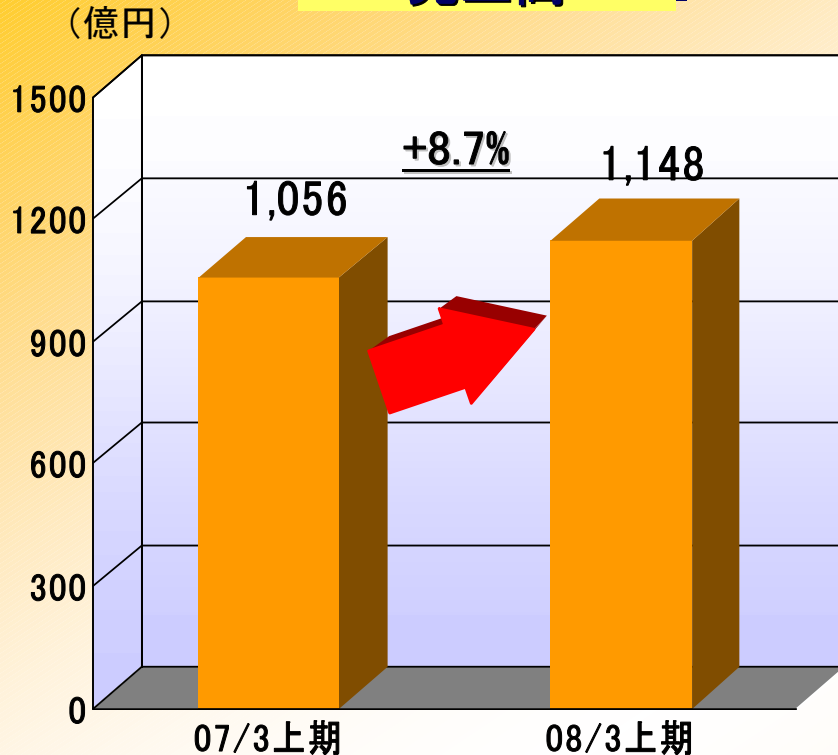
(億円)	07/3上期 ＜実績＞	08/3上期 ＜実績＞	対前年同期 増減額
ROE	14.4%	13.1%	—
純有利子負債残高	1,733	1,697	-36
Net D/Eレシオ	0.71倍	0.61倍	—
棚卸資産残高	1,053	1,070	+17
棚卸資産回転数	6.8回	7.0回	—

売上高・営業利益 [事業セグメント別]

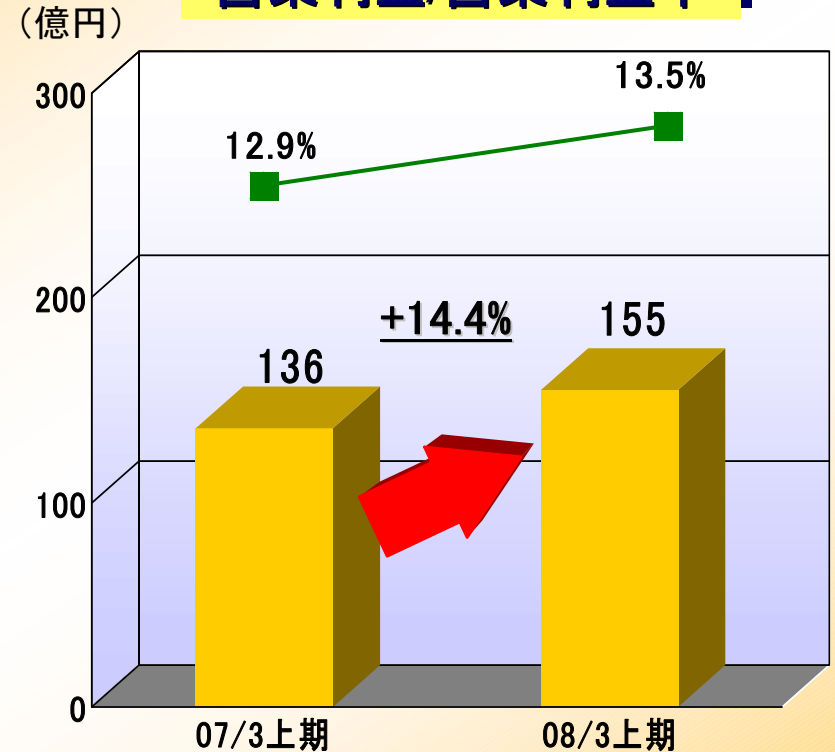
(億円)	07/3上期 ＜実績＞	08/3上期 ＜実績＞	対前年同期 増減額	対前年同期 伸び率	08/3上期 ＜期初予想＞
売上高	3,493	3,693	+200	+5.7%	3,600
産業機械軸受	1,056	1,148	+92	+8.7%	1,124
自動車関連製品	1,922	2,091	+169	+8.8%	1,999
精機製品	389	318	-71	-18.2%	350
その他	226	245	+19	+8.6%	227
消去	-100	-109	-9		-100
営業利益	300 <8.6%>	316 <8.5%>	+16	+5.2%	310 <8.6%>
産業機械軸受	136 <12.9%>	155 <13.5%>	+19	+14.4%	159 <14.1%>
自動車関連製品	108 <5.6%>	139 <6.7%>	+31	+28.7%	119 <6.0%>
精機製品	60 <15.4%>	38 <12.0%>	-22	-36.0%	43 <12.3%>
その他	13 <5.8%>	10 <4.1%>	-3	-22.7%	12 <5.3%>
全社費用	-17	-26	-9		-23

セグメント業績：産業機械軸受

売上高



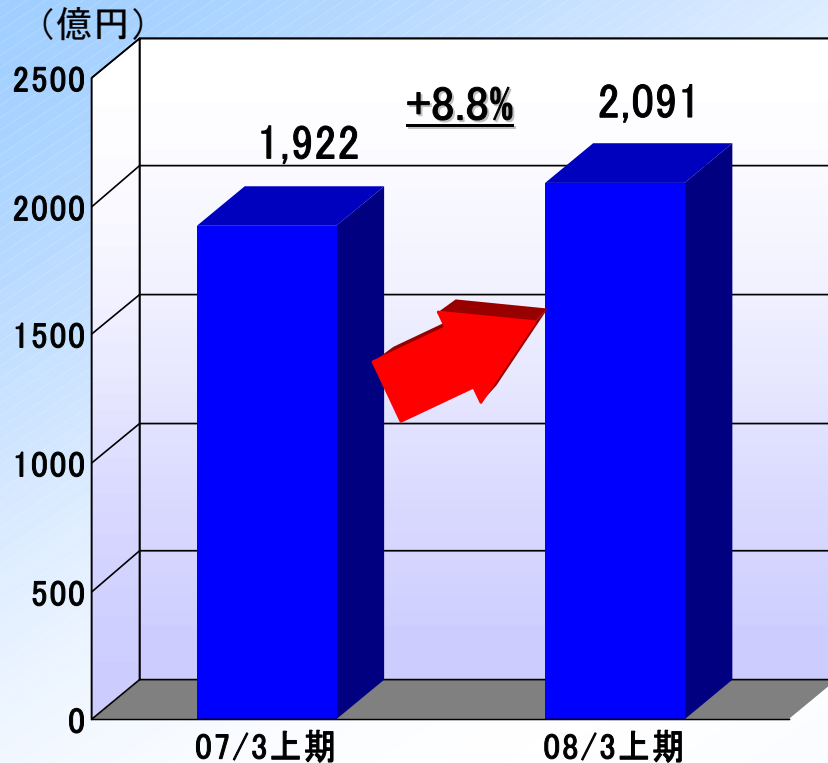
営業利益/営業利益率



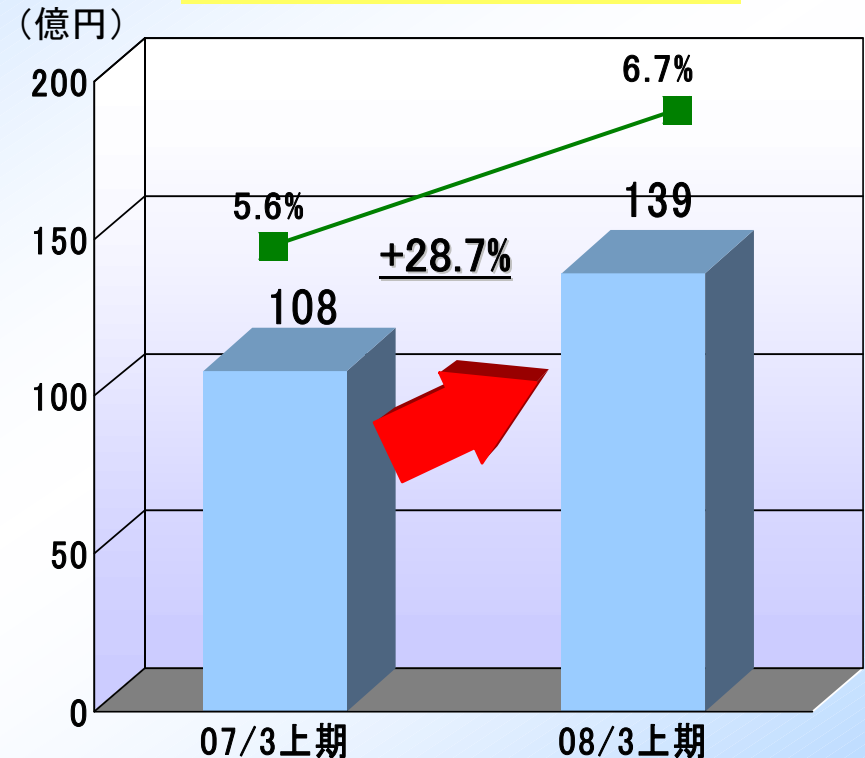
- 需要旺盛な設備投資関連向け中心にして売上増加、アフターマーケット向けも海外を中心に増加し、売上高は対前年同期比 8.7%増
- 物量増効果、製品値上げ効果、円安による為替プラス影響などにより営業利益は対前年同期比 14.4%増

セグメント業績：自動車関連製品

売上高



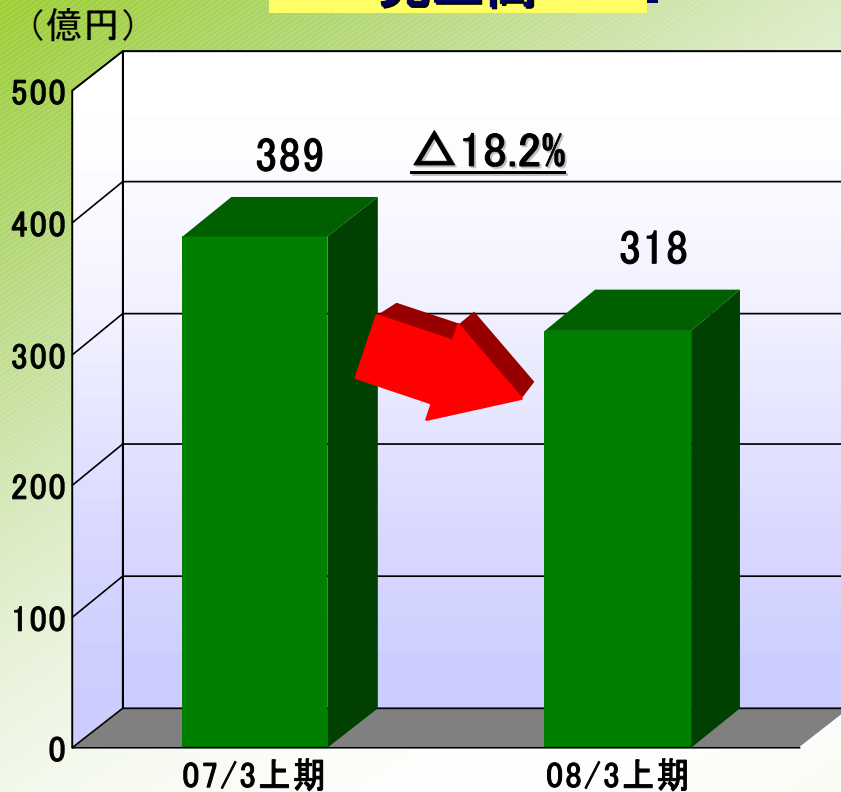
営業利益/営業利益率



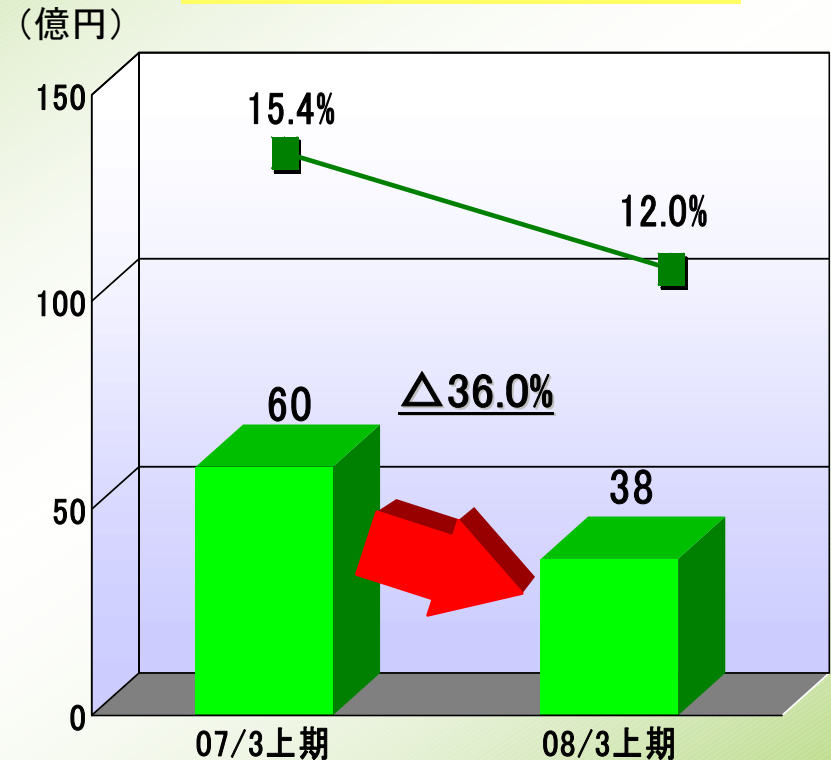
- 日本での輸出向け、海外では特に中国向け好調により需要環境は概ね堅調、売上高は対前年同期比 8.8%増
- 物量増効果、外部調達費用削減や設備投資効果による生産力向上等の社内努力効果により収益改善が進展、営業利益は対前年同期比 28.7%増

セグメント業績：精機製品

売上高



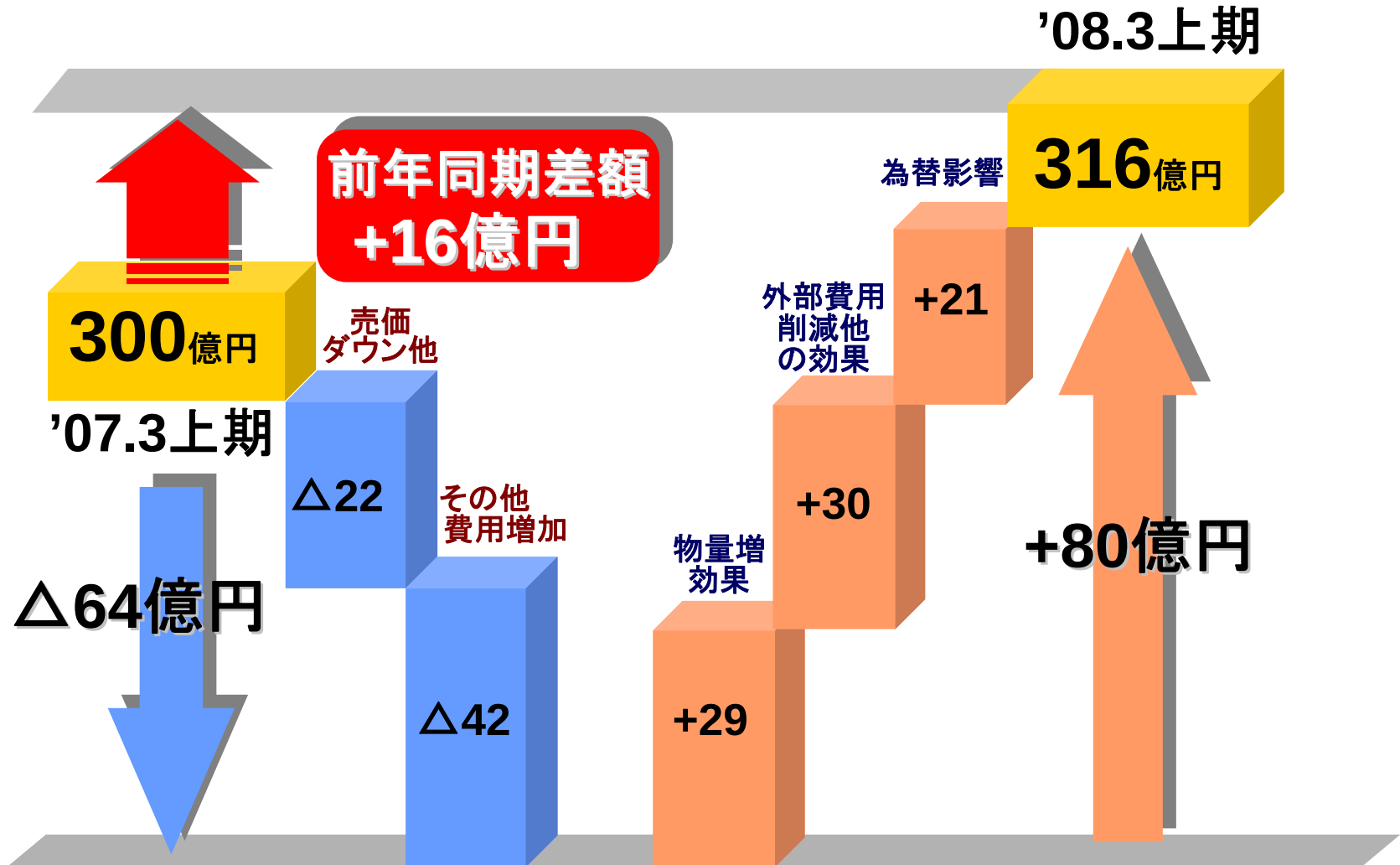
営業利益/営業利益率



- 工作機械向けは高水準で推移する一方、半導体/液晶関連向けが低調継続、液晶露光装置の減もあり、売上高は対前年同期比 18.2%減
- 生産性改善施策を継続するも物量減少の影響により、営業利益は対前年同期比 36.0%減

営業利益 増減内訳 ('07.3上期 '08.3上期)

(億円)



売上高・営業利益 [法人所在地別]

(億円)	07/3上期 ＜実績＞	08/3上期 ＜実績＞	対前年同期 増減額	対前年同期 伸び率	08/3上期 ＜期初予想＞
売上高	3,493	3,693	+200	+5.7%	3,600
日本	2,538	2,629	+91	+3.6%	2,614
米州	502	545	+43	+8.6%	522
欧州	618	662	+44	+7.1%	575
アジア	496	554	+58	+11.9%	546
消去	-661	-697	-36	-	-657
営業利益	300 <8.6%>	316 <8.5%>	+16	+5.2%	310 <8.6%>
日本	222 <8.8%>	214 <8.1%>	-8	-3.6%	218 <8.3%>
米州	20 <4.0%>	25 <4.6%>	+5	+24.5%	28 <5.4%>
欧州	32 <5.2%>	41 <6.2%>	+9	+28.2%	36 <6.3%>
アジア	46 <9.2%>	63 <11.3%>	+17	+38.1%	53 <9.7%>
消去/全社費用	-20	-27	-7	-	-25

- 日 本: 物量増効果、生産性改善、外部調達削減などの社内努力や為替影響などプラス要因があるものの、売価ダウン、減価償却費(制度変更の影響もあり)、販売管理費の増などが影響し利益減
- 米 州: 物量増効果や北米工場の移管終了による発生費用減などが寄与し収益改善
- 欧 州: 産業機械向けを中心とした売上増効果や製品値上げ、外部調達削減などが寄与
- アジア: タイなどアセアン地域や中国での売上拡大が利益増に貢献

売上高 [顧客地域別]

(億円)	07/3上期 ＜実績＞	08/3上期 ＜実績＞	対前年同期 増減額	対前年同期 伸び率	08/3上期 ＜期初予想＞
売上高	3,493	3,693	+200	+5.7%	3,600
日本	1,764	1,857	+93	+5.3%	1,857
海外合計 (海外比率)	1,729 (49.5%)	1,836 (49.7%)	+107	+6.2%	1,743 (48.4%)
米州	514	553	+39	+7.6%	544
欧州	589	630	+41	+6.9%	559
アジア	626	653	+27	+4.3%	640

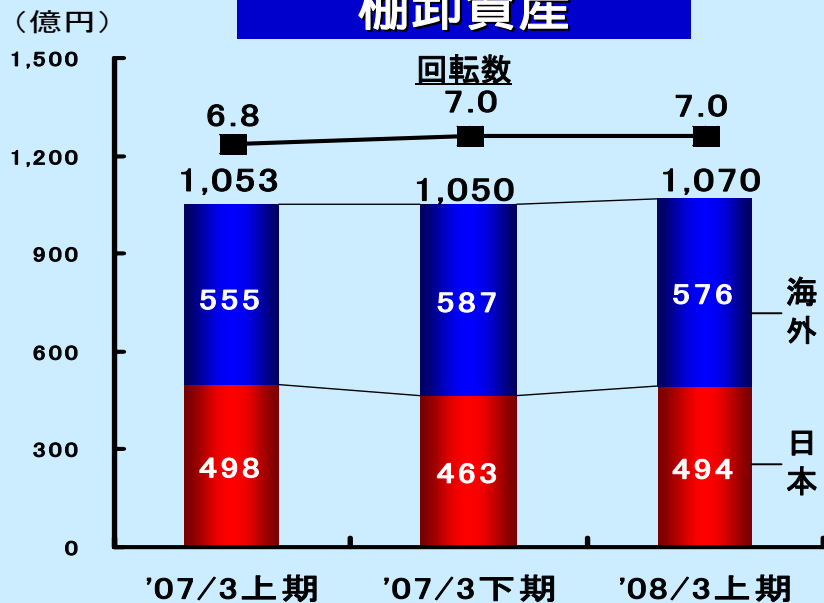
- 日本 : 工作/一般産業機械向け堅調に推移、自動車向け(電動パワーステアリング等)増加
- 米州 : 北米、ブラジル等での一般産業機械向け及び自動車向けが増加
- 欧州 : 一般産業機械向け及び自動車向け軸受が増加
- アジア : 中国向け好調、タイ自動車向けが増加なるも液晶露光装置は大幅減少

貸借対照表

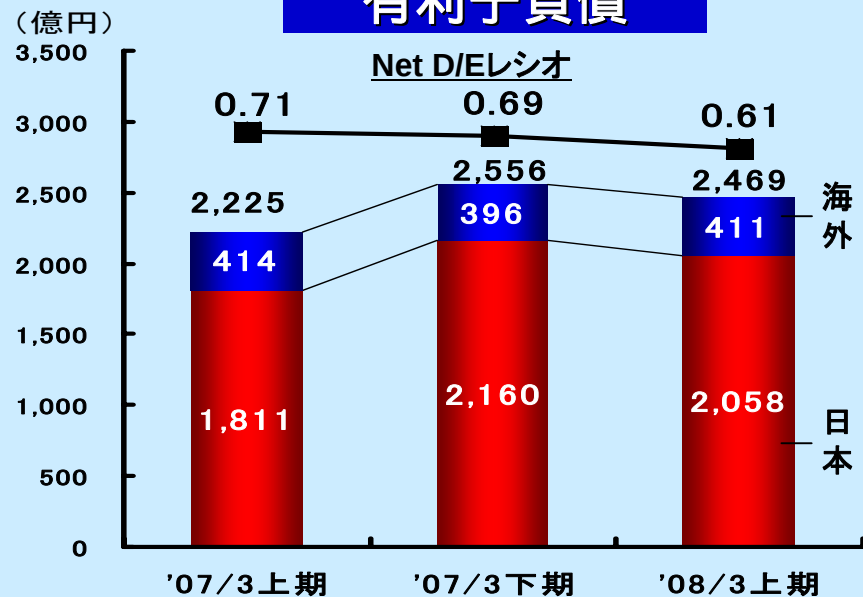
(億円)	07/3		08/3	対前期末 増減
	上期	下期	上期	
資産の部				
流動資産	3,250	3,891	3,812	-79
固定資産	4,212	4,267	4,363	+96
資産合計	7,462	8,158	8,175	+17
負債・純資産の部				
流動負債	2,693	2,975	2,924	-51
固定負債	2,184	2,416	2,331	-85
負債合計	4,877	5,391	5,255	-136
純資産合計	2,585	2,767	2,920	+153
負債及び純資産合計	7,462	8,158	8,175	+17
(換算レート1US\$=)	(¥117.90)	(¥118.05)	(¥115.43)	
(" 1EURO=)	(¥149.77)	(¥157.33)	(¥163.38)	

棚卸資産 / 有利子負債 / 設備投資 / 減価償却費

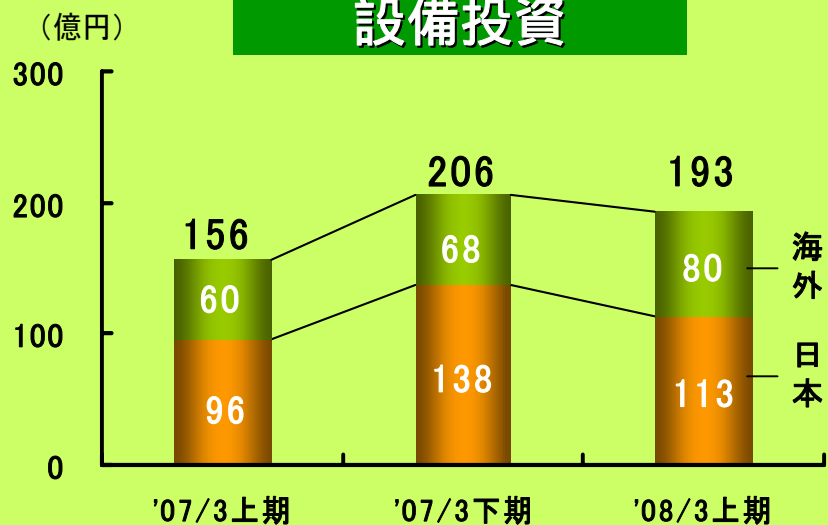
棚卸資産



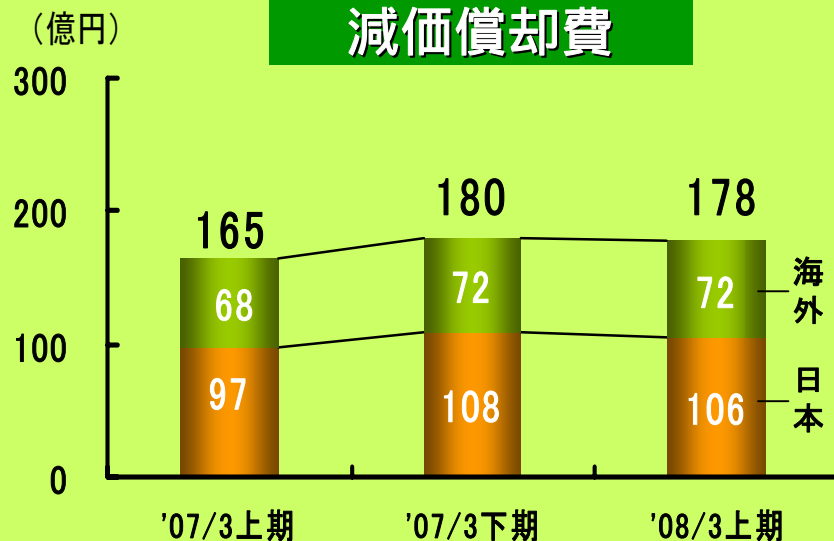
有利子負債



設備投資



減価償却費



* 無形固定資産を除く

* 無形固定資産を除く

2. 2008年3月期業績予想

《通期業績予想修正》

『期初業績予想に対し、売上・各利益ともに上方修正』

- 売上7,600億円,営業利益690億円,経常利益650億円,当期利益410億円
- 下期為替前提:US\$=115円, ユーロ=160円 (期初予想US\$=115円、ユーロ=150円)

《下期事業環境見通し》

『一部で不透明要因があるものの、概ね堅調と予想』

- 【日 本】
 - *工作機械／産業機械 概ね需要環境は高水準で推移見込み
 - *自動車生産 輸出向け好調により生産台数対前年増
 - *半導体／液晶関連 半導体需要は回復遅れ、液晶関連は調整継続
- 【米 州】 景気先行きに不透明感あり
- 【欧 州】 緩やかな回復基調が継続
- 【アジア】 中国高水準の成長持続、アセアン自動車生産不透明
- 【リスク】 サブプライムローン問題の実体経済への影響、円高進行、原油高

2008年3月期下期の重点課題

重点課題

成長戦略・体質改善
を徹底的に推進

コストアップ要因
を確実に吸収

需要旺盛分野
へ着実に対応

事業環境変化
へ迅速に対応

『中期計画最終年度(09年3月期)
に向けての足固め』

2008年3月期

通期業績予想

NSK

(億円)	07年3月期	08年3月期					
		上期 ＜実績＞	下期 ＜修正予想＞	通期 ＜修正予想＞	対前期 増減額	対前期 伸び率	通期 ＜期初予想＞
売上高	7,172	3,693	3,907	7,600	+428	+6.0%	7,450
営業利益	624	316	374	690	+66	+10.6%	680
＜営業利益率＞	<8.7%>	<8.5%>	<9.6%>	<9.1%>			<9.1%>
経常利益	576	294	356	650	+74	+12.9%	635
税引前利益	570	294	356	650	+80	+14.0%	635
当期純利益	349	177	233	410	+61	+17.6%	390
(換算レート1US\$=)	(¥116.93)	(¥119.42)	(¥115)	(¥117.21)			(¥115)
(" 1EURO=)	(¥150.35)	(¥162.33)	(¥160)	(¥161.17)			(¥150)

4期連続過去最高を更新見込み

2008年3月期 通期予想 [事業セグメント別]

(億円)	07年3月期	08年3月期				
		上期 ＜実績＞	下期 ＜修正予想＞	通期 ＜修正予想＞	対前期 増減額	通期 ＜期初予想＞
売上高	7,172	3,693	3,907	7,600	+428	7,450
産業機械軸受	2,163	1,148	1,212	2,360	+197	2,328
自動車関連製品	3,979	2,091	2,199	4,290	+311	4,102
精機製品	777	318	362	680	-97	765
その他	451	245	245	490	+39	455
消去	-198	-109	-111	-220	-22	-200
営業利益	624 <8.7%>	316 <8.5%>	374 <9.6%>	690 <9.1%>	+66	680 <9.1%>
産業機械軸受	296 <13.7%>	155 <13.5%>	180 <14.9%>	335 <14.2%>	+39	334 <14.3%>
自動車関連製品	227 <5.7%>	139 <6.7%>	156 <7.1%>	295 <6.9%>	+68	252 <6.1%>
精機製品	115 <14.8%>	38 <12.0%>	52 <14.4%>	90 <13.2%>	-25	116 <15.2%>
その他	24 <5.3%>	10 <4.1%>	12 <4.9%>	22 <4.5%>	-2	25 <5.5%>
全社費用	-38	-26	-26	-52	-14	-47

2008年3月期 通期予想 [法人所在地別]

(億円)	07年3月期	08年3月期				
		上期 ＜実績＞	下期 ＜修正予想＞	通期 ＜修正予想＞	対前期 増減額	通期 ＜期初予想＞
売上高	7,172	3,693	3,907	7,600	+428	7,450
日本	5,223	2,629	2,776	5,405	+182	5,421
米州	1,029	545	530	1,075	+46	1,031
欧州	1,276	662	703	1,365	+89	1,199
アジア	987	554	650	1,204	+217	1,125
消去	-1,343	-697	-752	-1,449	-106	-1,326
営業利益	624 <8.7%>	316 <8.5%>	374 <9.6%>	690 <9.1%>	+66	680 <9.1%>
日本	474 <9.1%>	214 <8.1%>	251 <9.0%>	465 <8.6%>	-9	475 <8.8%>
米州	38 <3.7%>	25 <4.6%>	29 <5.5%>	54 <5.0%>	+16	57 <5.5%>
欧州	67 <5.2%>	41 <6.2%>	51 <7.3%>	92 <6.7%>	+25	83 <6.9%>
アジア	95 <9.6%>	63 <11.3%>	70 <10.8%>	133 <11.0%>	+38	115 <10.2%>
消去/全社費用	-50	-27	-27	-54	-4	-50

2008年3月期 予想 [顧客地域別売上高]

(億円)	07年3月期	08年3月期				
	通期 ＜実績＞	上期 ＜実績＞	下期 ＜修正予想＞	通期 ＜修正予想＞	対前期 増減額	通期 ＜期初予想＞
売上高	7,172	3,693	3,907	7,600	+428	7,450
日本	3,644	1,857	1,963	3,820	+176	3,817
海外合計	3,528	1,836	1,944	3,780	+252	3,633
(海外比率)	(49.2%)	(49.7%)	(49.8%)	(49.7%)		(48.8%)
米州	1,051	553	537	1,090	+39	1,072
欧州	1,217	630	654	1,284	+67	1,169
アジア	1,260	653	753	1,406	+146	1,392

3. 中期経営計画の進捗状況

中期経営計画（'06～'08年）の骨子

《 中期経営計画（'06～'08） 》

中期計画骨子

中期経営計画ビジョン

『トータル・クオリティーにおいて
業界No.1の企業となる』

成長
戦略

グループ共通施策

生産力の強化

製品開発力の強化

海外収益力の強化

グローバルマネジメントの強化

体質
改善

地域戦略・事業戦略

産業機械軸受

自動車関連製品

精機製品

数値目標

08年度 計画

06年2月発表数値

売上高 7,400億円

営業利益 740億円

営業利益率 10.0%

ROE 15.0%

Net D/Eレシオ 0.4倍

中期経営計画の進捗（セグメント別）

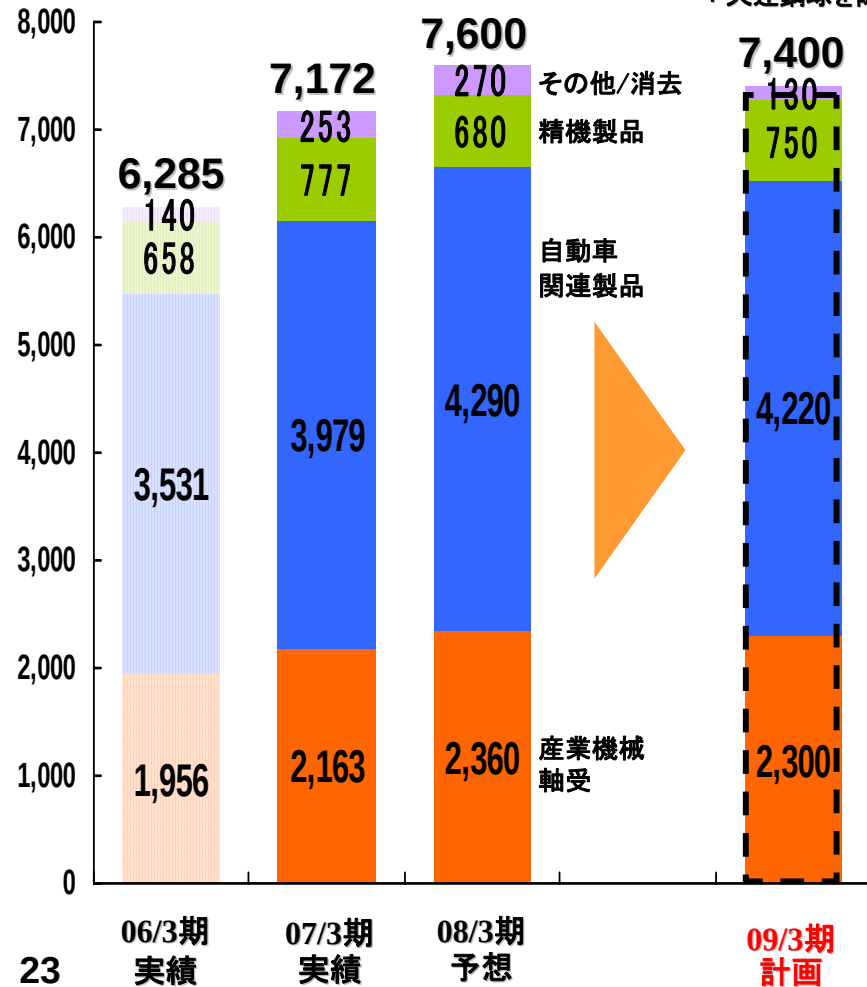
売上高

(億円)

'06～'08中期経営計画

06年2月
発表数値

* 天辻鋼球を除く



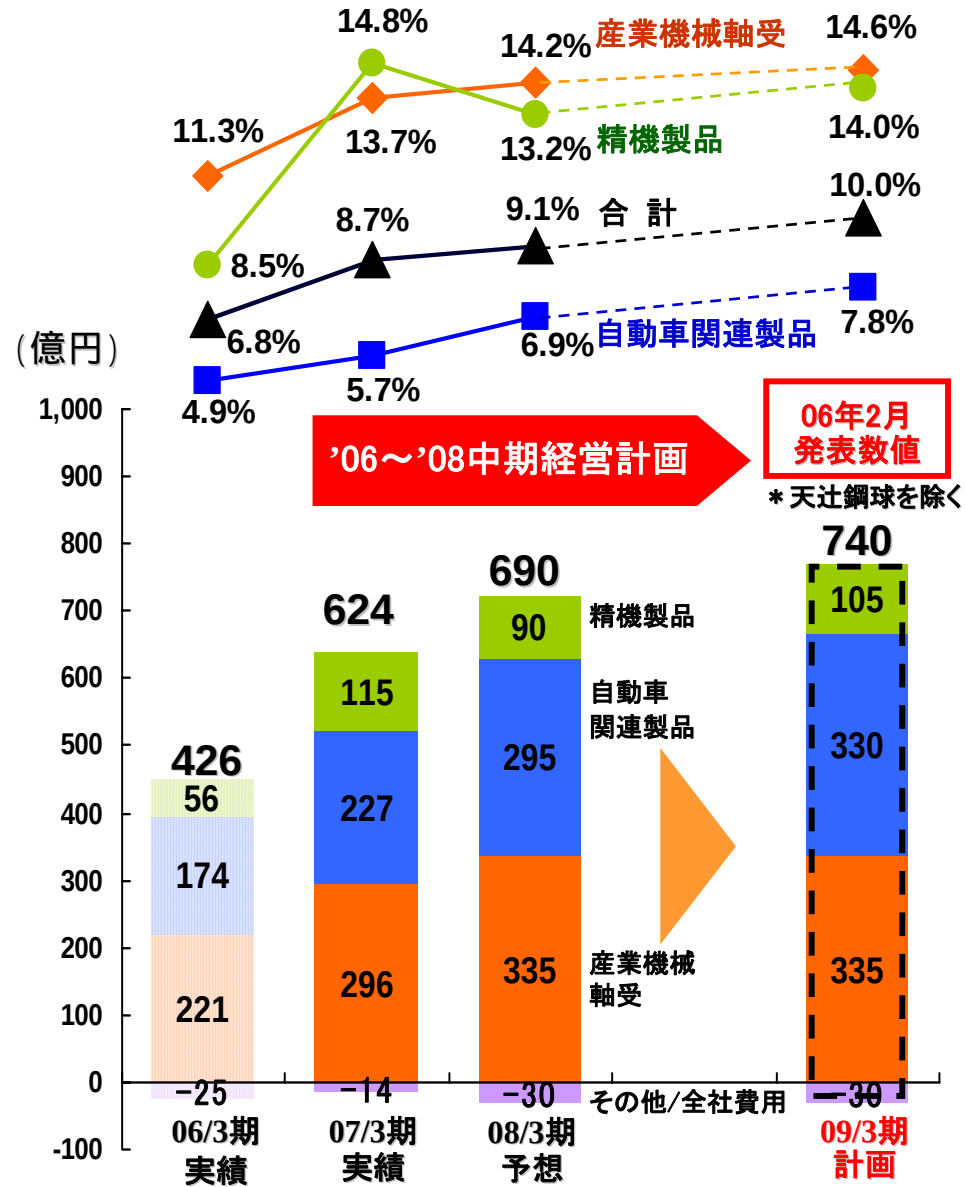
営業利益 / 営業利益率

(億円)

'06～'08中期経営計画

06年2月
発表数値

* 天辻鋼球を除く



一産業機械軸受一

基本方針：営業力・生産力強化による拡販推進

【営業力強化】

- 重点産業別セクター活動の深耕
⇒鉄鋼/工作機械/風力/建機など
- Channel Development
⇒海外新規販売店網の開拓
- 技術主導による拡販推進
⇒技術サポートによるエンドユーザーサービス向上
⇒新商品開発積極化

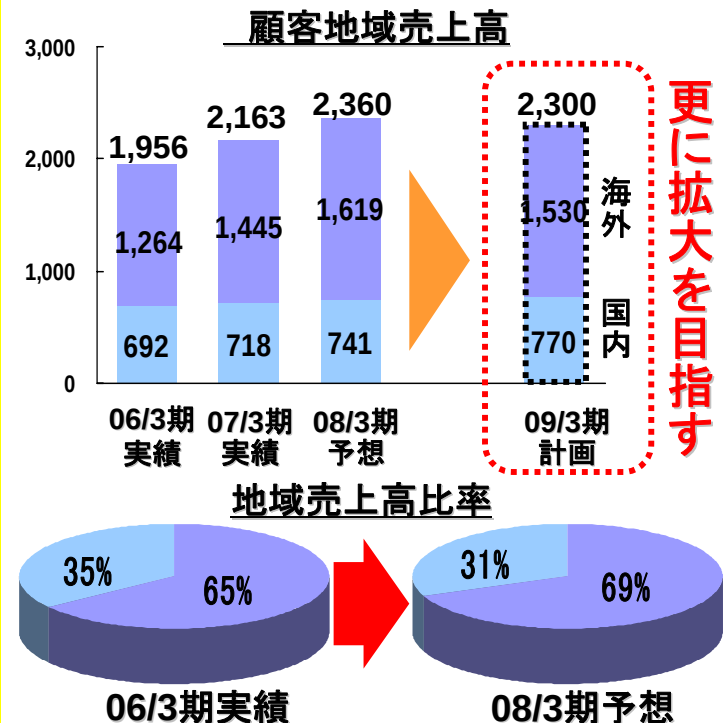
【生産力強化】

- 藤沢第2工場のスムーズな生産立ち上げ
⇒2008年1月生産開始予定
- 藤沢工場を含めた生産体制最適化

グローバル拡販推進

ころ軸受の拡販

アフターマーケット分野
への拡販



一産業機械軸受一

『産業機械軸受の成長を牽引する“ころ軸受”』

ころ軸受売上推移(通期)



成長牽引分野における拡大

鉄 鋼：新興地域における需要拡大への対応体制強化

工作機械：日本/欧州/アジア主要メーカー向け販売強化

風力発電：欧米リーディングメーカー向け中心に大型受注継続

鉄道車両：JR新型車両及び東アジア鉄道網整備への対応

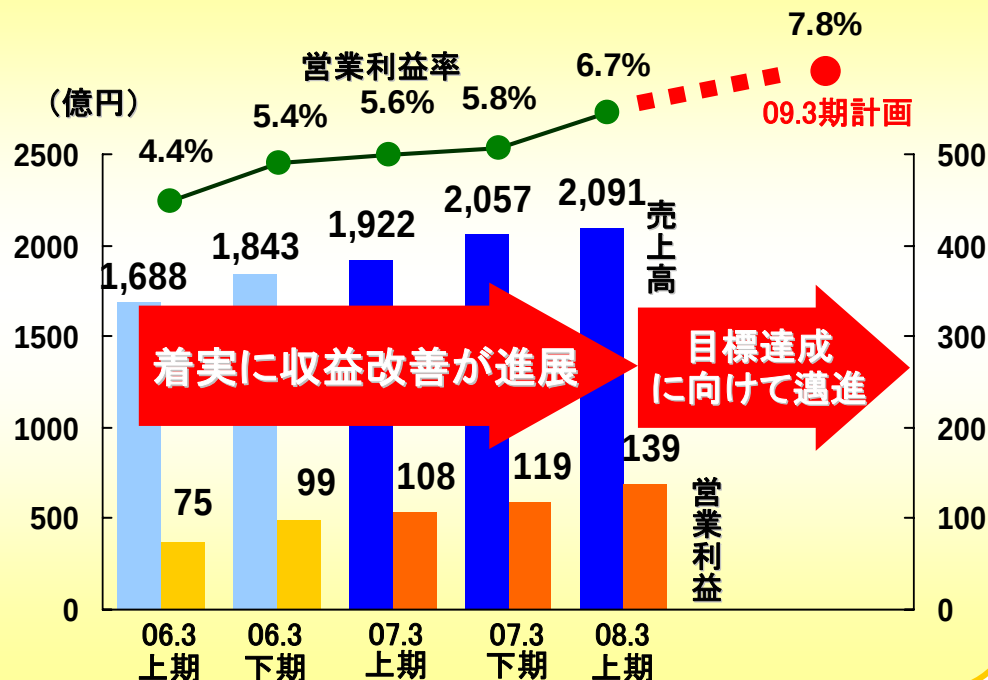
更なるグローバル成長への活動強化

鉱山/流体（ポンプ&コンプレッサ）/製紙 etc. ：
グローバルトップユーザーへの取組みによる販売強化

基本方針：収益力の強化と案件受注

【収益力強化】 NSKの安定的な収益基盤をより強固なものに

- ✓ 設備投資効果の刈り取り
スピードアップと最大化
- ✓ 直接費コストダウンの推進
- ✓ APS活動の継続取り組み
(生産性改善活動継続)
- ✓ グローバル調達施策の推進
(最適地供給, 内製化拡大)
- ✓ 北米工場の生産安定化
(生産移管終了済み)



【受注取組み強化】 09年以降の案件受注積極化

- ✓ ドライブトレイン向け軸受のグローバル展開加速
- ✓ 高出力EPSの差別化による拡販積極化

自動車関連製品

【事業展開強化】 自動車事業の更なる成長へ

✓ アジア(中国・インド・アセアン)への戦略投資

成長する新興アジア地域への新展開

現地生産対応による収益向上

地場メーカー需要への対応強化

日系・欧米系メーカーへの増産対応

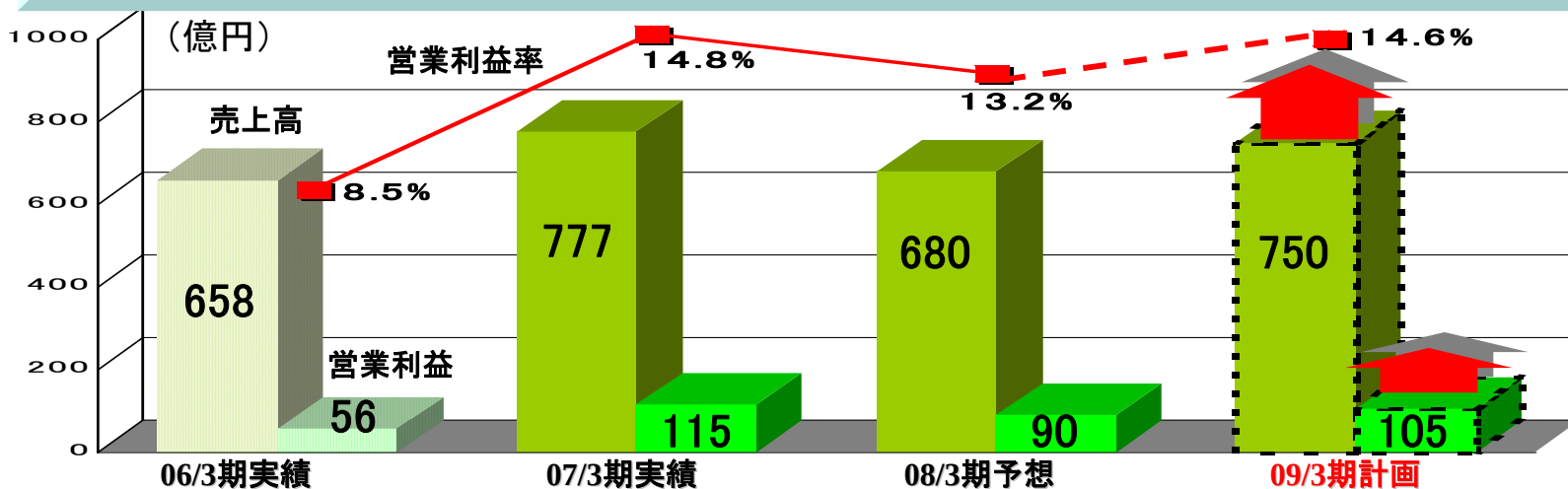
自動車事業におけるアジア展開強化

■ 軸受生産拠点 ■ ステアリング生産拠点 ■ 販売拠点



地域	プロジェクト	背景
中国	昆山工場3号棟の増強	ハブユニット軸受需要増への対応
	NSK-八木前工程合併会社の設立	軸受前工程の強化
	Suzhou NSK軸受工場の新展開	Timken-NSKの独資化
	杭州NSK万達EPS合併会社の設立	現地メーカーEPS需要への展開
インド	NSK-ABC軸受合併工場の設立	成長するインド市場への対応
	インドEPS工場の設立	インドEPS需要への展開
	インド販売法人の設立	インド現地販売の強化
アセアン	NBMT(タイ)工場2号棟の増設	タイ軸受需要増への対応
	SNSS(タイ)工場2号棟の増設	ステアリング部品の内製化
	インドネシア工場の拡張	二輪向け軸受の拡販対応
	ベトナム販売法人の設立	ベトナム現地販売の強化

基本方針：直動製品への注力による収益力の強化



グローバル拡販
戦略推進

アジア(中国・台湾・韓国・インド等)販売強化

海外販売店網の開拓と充実

需要変動に
強い体質作り

整流化活動

第二次整流化活動

新たな需要分野への拡大によるセールスマックス改善

顧客・市場
満足の向上

顧客ニーズに対応した新商品開発

リードタイムの短縮

事業拡大
収益の伴った

中期経営計画目標（09年3月期）達成に向けて

中期経営計画目標達成に向けて

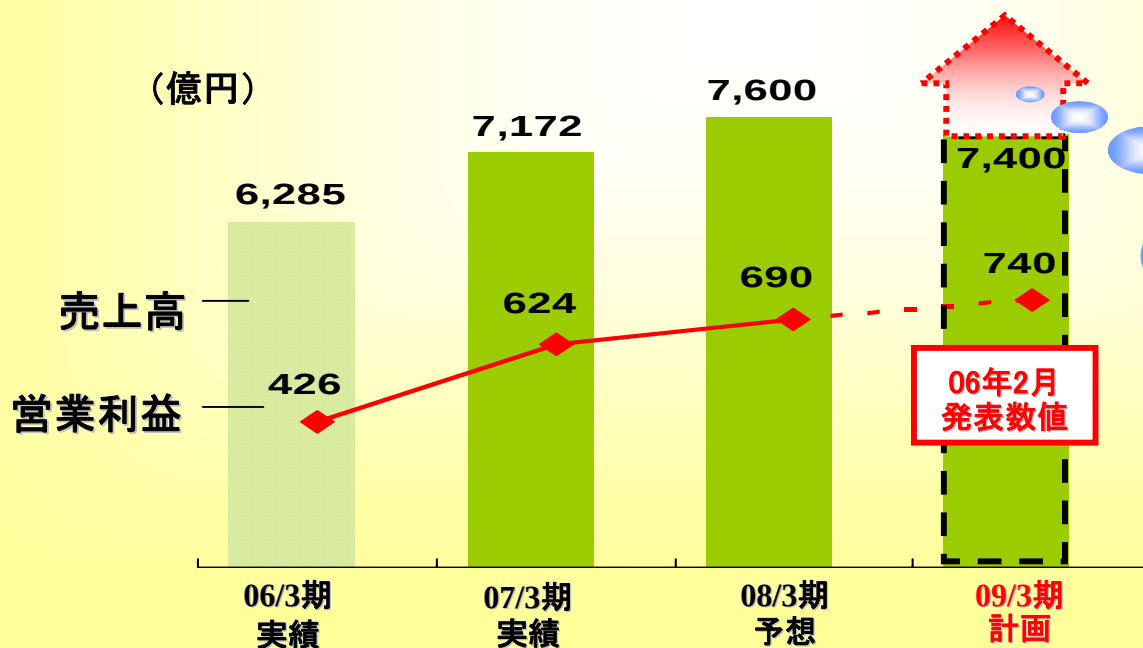
設備投資効果の刈り取りスピードアップ

体質強化の徹底推進

グローバル拡大の推進

戦略分野への積極投資継続

- 需要旺盛分野への
アウトプット最大化
- 収益の最大化
- 更なる事業拡大
- 次の飛躍への布石

更なる事業拡大
を狙う

(補足資料) - 08年3月期 補足情報 -

(億円)	07年3月期 実績	08年3月期 上期実績	08年3月期 通期予想
設備投資(*)	362	193	465
日本	234	113	321
海外	128	80	144
米州	36	18	27
欧州	32	24	41
アジア	60	38	76

* 無形固定資産を除く

(億円)	07年3月期 実績	08年3月期 上期実績	08年3月期 通期予想
償却費(*)	345	178	378

* 無形固定資産を除く

(億円)	07年3月期 実績	08年3月期 上期実績	08年3月期 通期予想
研究開発費	101	50	105

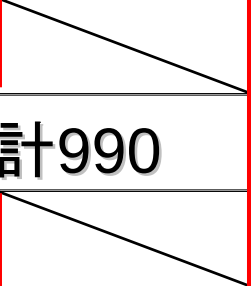
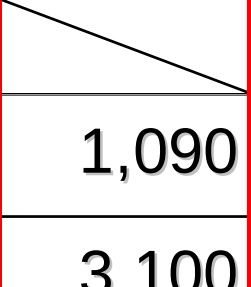
(補足資料) - 中期経営計画セグメント別損益 -

06年2月発表数値

(億円)	06/3期実績	07/3期実績	08/3期予想	09/3期中期計画
産業機械軸受				
売上高	1,956	2,163	2,360	2,300
営業利益 <率>	221 <11.3%>	296 <13.7%>	335 <14.2%>	335 <14.6%>
自動車関連製品				
売上高	3,531	3,979	4,290	4,220
営業利益 <率>	174 <4.9%>	227 <5.7%>	295 <6.9%>	330 <7.8%>
精機製品				
売上高	658	777	680	750
営業利益 <率>	56 <8.5%>	115 <14.8%>	90 <13.2%>	105 <14.0%>
その他				
売上高	235	451	490	220
営業利益 <率>	13 <5.5%>	24 <5.3%>	22 <4.5%>	15 <6.8%>
消去/全社費用				
売上高	-95	-198	-220	-90
営業利益	-38	-38	-52	-45
合計				
売上高	6,285	7,172	7,600	7,400
営業利益 <率>	426 <6.8%>	624 <8.7%>	690 <9.1%>	740 <10.0%>

(補足資料) - 中期経営計画財務体質強化 -

06年2月発表数値

(億円)	06/3期実績	07/3期実績	08/3期予想	09/3期計画
営業利益率	6.8%	8.7%	9.1%	10%
ROE	12.1%	14.0%		15%
設備投資	473	(計画)3年間合計1,000		
		362	465	
減価償却費	294	(計画)3年間合計990		
		345	378	
Net有利子負債	1,711	1,822		1,090
株主資本	2,357	2,624		3,100
Net D/Eレシオ	0.73倍	0.69倍		0.4倍